

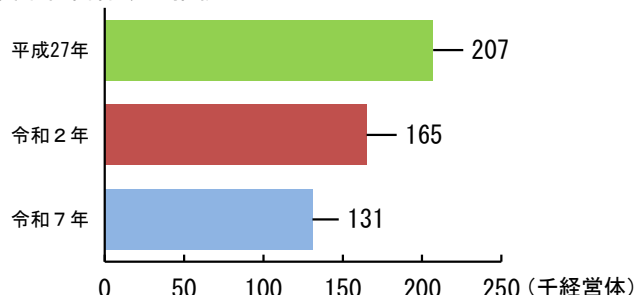


## 九州の農業

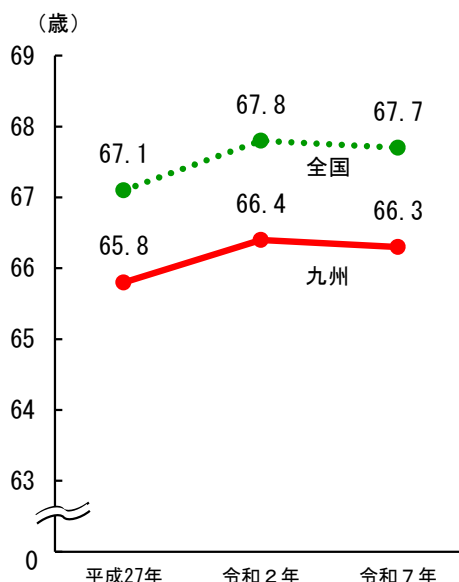
# 農業構造（農業経営体）

## 九州の農業経営体数及び基幹的農業従事者平均年齢の推移

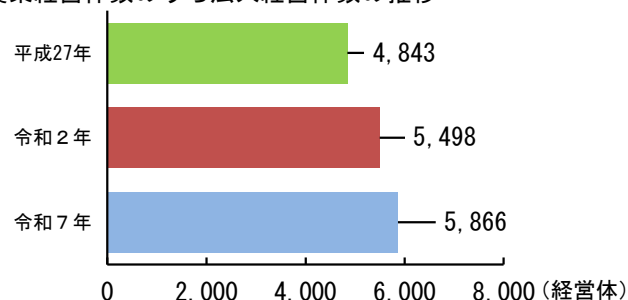
農業経営体数の推移



基幹的農業従事者平均年齢



農業経営体数のうち法人経営体数の推移



資料: 農林水産省「農林業センサス」

- 注: 基幹的農業従事者 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。  
 基幹的農業従事者平均年齢 平成27(2015)年は販売農家の数値、令和2(2020)年、令和7(2025)年は個人経営体の数値。  
 農業経営体 経営耕地面積が30a以上の規模の農業、又は販売金額50万円以上に相当する規模の農業を行う者(農作業の受託を含む。)  
 法人経営体 農業経営体のうち、法人化して事業を行う者。

九州における基幹的農業従事者の平均年齢は全国に比べ1.4歳若くなっていますが、平均年齢は66歳を超え、農業者の高齢化が進んでいます。また、農業経営体数は131千経営体であり、10年前に比べて約4割減少しましたが、法人化している経営体は1.0千経営体(21%)増加しています。

また、九州各県では農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合が増加しており、佐賀県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県が全国平均を上回っています。



## 農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合

